

平成 28 年度九州考古学会総会プログラム

日時：2016 年 11 月 26 日（土）・27 日（日） 場所：九州大学西新プラザ

参加費（資料集代を含む）：会員 1000 円／非会員 1500 円 資料集のみの場合：会員 1000 円／非会員 1500 円

第 1 日目 11 月 26 日（土） 受付開始 12:30～

13:00～13:10 開会式

13:10～13:50 ①山崎龍雄（福岡市経済観光文化局文化財部埋蔵文化財課）
「福岡城下町遺跡の調査について 第 1 次調査の概要」

13:50～14:30 ②高島 豊（大分市教育委員会）「府内城・城下町の調査」

14:30～14:40 休憩

14:40～15:20 ③堤 伴治（柳川市教育委員会）「近世柳川城下町の調査」

15:20～16:30 ④鄭義道（韓国文物研究院） 通訳：主税英徳（基山町教育委員会）
「高麗末 沿海邑城 築造説 検討-東萊邑城 築造와 關聯하여-」

16:30～16:40 休憩

16:40～17:40 総会

18:00～ 懇親会〔於：西新パレス〕

第 2 日目 11 月 27 日（日） 受付開始 9:10～

09:30～10:10 ⑤柳田康雄（國學院大學）「板付 I 式土器の実態」

10:10～10:50 ⑥加田隆志（鹿島市教育委員会）・渋谷格（佐賀県教育委員会）
「佐賀県鹿島市旭ヶ岡遺跡の発掘調査について」

10:50～11:30 ⑦ 吉田佳広（春日市教育委員会）
「春日市須玖岡本遺跡岡本地区第 20 次補足調査の概要」

11:30～12:00 ポスターセッション解説時間

[1] 足立達朗¹・田尻義了¹・中野伸彦²・小山内康人²
（¹九州大学アジア埋蔵文化財研究センター・²九州大学大学院比較社会文化研究院）
「地球科学の高精度分析に基づく唐津市・堂の前遺跡出土玄武岩製石斧の原産地推定」

[2] 九州大学埋蔵文化財調査室
「箱崎遺跡の発掘調査—九州大学箱崎キャンパス 2016 年度調査の成果と課題—」

[3] 佐藤浩司（（公財）北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室）
「小倉城下町の構造と発展の様相」

[4] 吉田和彦（杵築市教育委員会）「杵築城藩主御殿と杵築城下町」

[5] 野村俊之・加藤久雄（長崎ウエスレヤン大学）「旧木の口墓所調査の概要」

12:00～13:00 昼休み

13:00～13:40 ⑧山元瞭平（熊本大学）「古代肥後国の須恵器生産—宇城窯跡群の踏査成果を中心に—」

13:40～14:20 ⑨下原幸裕（九州歴史資料館）
「第Ⅱ期大宰府政庁の造営過程—主に鴻臚館式軒瓦の検討から—」

14:20～14:30 休憩

14:30～15:10 ⑩松田麻里（福岡大学）「琉球の大和系瓦と九州の中世瓦」

15:10～15:50 ⑪北島大輔（山口市教育委員会）
「赤妻古墳をめぐる人びと—近代山口における考古学研究と文化財保護—」

15:50～ 閉会式